

旧赤松家だより

平成 30 年 12 月 19 日



今年も残りわずかとなり、なにかと気ぜわしくなってきました。お忙しい毎日とは思いますが、記念館内の休憩スペースで庭を眺めたり、庭園内を散歩したり、旧赤松家記念館でのんびり過ごして、息抜きしてみてもいいでしょうか。



邸内にある図書蔵は、大正初期に建造され、江戸初期から明治・大正にかけての貴重な書籍や資料が 3000 点以上も収められていました。

図書蔵にはドーマー窓などに見られる西洋風の近代工法や、回転式雨戸など日本古来の伝統工法が巧みに組み合わされており、見どころとなっています。

今月 19 日から内蔵ギャラリーでは、『明治の絵双紙(双六)』展を開催しています。

この時代の双六の絵柄は、世相を風刺するものが多かったようです。昔なつかしいメンコなども展示していますのでぜひご覧ください。

内蔵ギャラリーのご案内

『明治の絵双紙(絵双六)』展

開催期間：12月19日(水)～1月8日(火)

*休館日 12月25日(火)、12月29日(土)～1月3日(木)、1月7日(月)

開催時間：午前9時～午後4時30分

(最終日は午後3時まで)

入場料：無料

出展者：旧赤松家記念館

問い合わせ：旧赤松家記念館 0538-36-0340



展示作品より